

第11期

『論語と算盤』 オンライン読書会

Zoom／全6回

渋沢栄一による『論語と算盤』を通じたディスカッションから、
私たちの「いま」を考える読書会です。



渋沢栄一 渋沢史料館所蔵

概要

幅広い分野で活躍した渋沢栄一は『論語』を行動の拠り所とし、『論語と算盤』(1916年初版)という本を遺しました。近年では、『論語と算盤』の現代語表記本や現代語訳などが相次いで出版され、渋沢の思想から経営、仕事、人生のヒントを得ようとする関連書も多数出版されています。

本読書会は、『論語と算盤』をテキストに全11章の内容を毎月2章ずつ読み進めディスカッションを行います。終了時には、参加者一人一人がアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるよう、仕事や経営、教育、研究、生涯学習、地域活動など様々な場面で活かしていくことが目標です。

渋沢栄一や『論語と算盤』に関心がある方、また幅広い世代の方とのディスカッションを通じ知見を広げたい方にもおすすめです。

第11期は、オンラインと対面両方の形式で読書会を実施いたします。

対面実施は、2022年12月中旬にお申込み受付開始予定です。(どちらも内容は変わりません)

講師

守屋 淳(作家)

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした、執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』(平凡社新書)、『現代語訳 論語と算盤』(ちくま新書)、『渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門』(NHK出版新書)、『ビジネス教養としての「論語」入門』(日本経済新聞出版社)など。



ホームページ▶ <http://chineseclasics.jp/>

実施内容

形 式▶ オンライン(オンライン会議アプリZoomを使用)

期 間▶ 2022年9月～2023年2月

実 施 日▶ 毎月第2土曜日

2022年(9月10日、10月8日、11月12日、12月10日)

2023年(1月14日、2月11日)

(ディスカッションは全5回、2/11は守屋淳先生の講義を実施します)

時 間▶ 14:00～16:00

参 加 費▶ 1,500円(全6回分、テキスト代含む)

定 員▶ 30名(お申込み多数の場合は選考を行います)

参加条件▶ ディスカッションを円滑に進めるため、全6回全ての回に参加できる方が対象。
欠席された場合でも参加費の返金はいたしませんのでご注意ください。

締 切▶ 2022年8月29日(月)

お申込み▶ 渋沢栄一記念財団ウェブサイトよりお申込みください。 <https://www.shibusawa.or.jp>

(トップページ⇒研究センター⇒企画・セミナー等情報⇒『論語と算盤』読書会)

